

安全保障理事会議長声明

「コート・ジボワール情勢」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2009年12月8日に開催された安全保障理事会第6234回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を発した。

安全保障理事会は、ワガドゥグ政治合意の常設諮問機構の2009年5月18日のコミュニケで2009年11月29日に予定され、全ての主要なコート・ジボワールの政治関係者により是認された、大統領選挙の第一段階の延期に懸念を持って留意する。

安全保障理事会は、コート・ジボワールの関係者により講じられた積極的な措置、とりわけ暫定的な有権者名簿および候補者名簿の発表を歓迎する。安保理は、常設諮問機構の2009年12月3日のコミュニケを更に歓迎する。安保理は、コート・ジボワールの和平プロセスを支援する継続的な努力に対し、仲介者、ブルキナ・ファソのブレイズ・コンパオレ大統領、を賞賛する。

安全保障理事会は、常設諮問機構が、独立選挙委員会の提案を基礎として、選挙の延期は技術的および財政的制限のためであることおよび大統領選挙の第一段階は2010年2月末または3月初めに計画されること、を検討したことに留意する。安保理は、コート・ジボワールの関係者に対し、残余の任務に対処し、できるだけ早い日時に国際標準に従った公開、自由、公正かつ透明な大統領選挙を実施することを促す。

安全保障理事会は、事務総長特別代表により保証された最終的な有権者名簿の発表は、公開、自由、公正かつ透明な大統領選挙の実施にとって重大であることに再び留意する。安保理は、コート・ジボワールの利害関係者に対し、選挙を支援する彼らの取組をかなえること、および、とりわけ暫定名簿の独立地方選挙委員会および裁判所への異議申し立て期間である38日の段階より遅れることなくこのプロセスを促進することを促す。安保理は、コート・ジボワール当局に対し、選挙についての善行規範に一致して、公共メディアに対する平等なアクセスを許可することを再度促す。安保理は、安保理決議1880(2009)に一致して、選挙プロセスの進展を妨害するものに対して適切に反応するその意図を、くり返し表明する。

安全保障理事会は、七つの命令を含む幾つかの軍の法および規則の2009年11月17日のローラン・バグボ大統領による署名を歓迎する。安保理は、コート・ジボワール当事者に対し、選挙の前後に、更なる具体的な進展を為し、再統一と軍備放棄プロセスを推進することを促す。

安全保障理事会は、2010年1月31までに国際連合コート・ジボワール活動(UNOCI)の職務権限および部隊のレベルを安保理が再検討することを想起する。安保理はコート・ジボワールにおける信頼に値する選挙プロセスに対し安保理が完全に支援するというその決意をくり返し表明する。安保理は、事務総長に対し、安保理決議1880(2009)において言及された報告書の中で、とりわけ最終的な有権者名簿および信頼に値する選挙予定表の発表を考慮して、活動の可能な幕引きに向けた時期、達成条件および様式を含むUNOCIの将来の方向について選択できるものを安保理に提供することを要請する。